

いすみ鉄道の歴史

明治	1932年12月	房総鉄道（外房線）大原まで開通				
	43年	県知事に軽便鉄道敷設の請願				
	1944年6月	大原・大多喜間に軽便鉄道敷設計画を出願				
	1944年7月	大原・大多喜間の軌道が免許、県債券85,000円				
大正	元年12月	県営人車軌道線 大原・大多喜間に開通 停車場4 停留所3 待避所2	県 営 人 車 軌 道			
	2002年3月	大多喜町桜台の代表 千葉・東京に鉄道敷設計画の偵察				
	6年	人車の利用者、1日約150人余り				
	7年末頃	乗客数35,541人 職員6人 客車手19人 貨車夫1人 8人乗り客車10両 4人乗り客車10両 貨車37両				
	9年	人車軌道線の経営権、民間に貸与				
	10年	人車軌道線3万円で譲渡、夷隅軌道株式会社設立 10人乗り軌道車導入 大原・小浜間軌道延長				
	昭和	2年		国鉄、夷隅軌道株式会社を買収改良工事に着手	夷 隅 軌 道	
3年		五井・上総中野間に小湊鉄道開通				
2005年4月		木原線大原・大多喜間が開通 木更津まで計画（久留里線） 上総東・国吉・上総中川の各駅設置	木 原 線			
7年		蒸気機関車C12型、木原線に導入				
2008年8月		大多喜・総元間が延長開通				
2009年8月		総元・上総中野間が延長開通（上総中野駅は小湊鉄道との共同使用） 営業距離26.9km 木更津との接続計画断念		国 鉄 時 代		
2012年2月		東総元・西畑の両駅設置 ガソリンカー運行				
19年		女子職員登場 太平洋戦争で軍需物資を輸送				
2029年9月		ディーゼルカー・レールバスが導入				
1935年6月		新田野・小谷松・久我原の各駅設置				
36年		レールバス廃止				
1944年9月		木原線の貨物輸送廃止				
47年		房総東線が外房線と改名、全線電化				
1954年12月		『日本国有鉄道の再建について』閣議了解。日量2,000人未満路線の廃止とバス・第3セクターへの転換決定				
1955年2月		全国知事会で地方交通線対策緊急要望書提出				
3月		大多喜・夷隅・大原町議会で木原線存続が決議 2月県議会で木原線存続の請願採択。運輸大臣に送付				
4月		大多喜で木原線存続の総決起大会開催				
5月		地元1市5町に国鉄木原線対策協議会を設置				
1956年12月		木原線特定地方交通線対策協議会で乗車1日2,000人を努力 以降 木原線乗車運動を実施				
1961年11月		木原線の第3セクター方式での存続が承認				
1962年4月		国鉄改革法で国鉄から東日本旅客鉄道株式会社（JR）運営				JR 木 原 線
6月		いすみ鉄道株式会社創立総会開催				
7月		いすみ鉄道株式会社設立登記				
1963年3月	23日でJR木原線廃止	い す み 鉄 道				
平成	24日からいすみ鉄道営業開始 ワンマン運転 車両7両 社員31名 営業距離26.8km					
	2003年3月		国吉駅舎建替			
	2004年3月		総元駅舎建替			
	2008年12月		列車無線設備新設			
	2010年3月		開業10周年記念イベント列車運行			
	2012年9月		花の四季彩ルート化計画（菜の花植栽）			